



特許出願中

配管保温材サムライ Lagging は、安心の日本製・遮熱シート EMW G-I を使用しています。
新工法は、従来の工法より性能が優れ、さらに簡単施工により作業効率が上がり、低コストも実現！



特徴

- 輻射熱の 97% を反射する両面アルミの遮熱シート
- 破れ難い素材をサンドした厚さ約 0.2 mm の軽量シート
- 高純度のアルミを使用 (99% 以上)
- 劣化の原因である腐食を防ぐ、腐食防止コーティングで耐久性 UP!

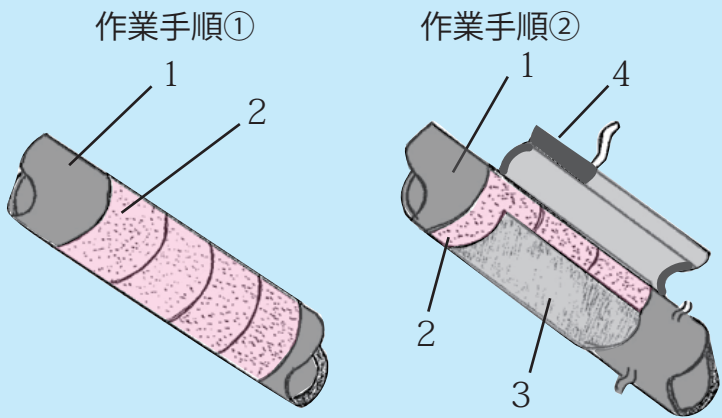
メリット

- 当シートは防水性、耐候性に優れており、保護カバー不要！
- 作業性がよく、安く、早い施工が可能。
- 従来の保温材に比べ、厚さが決定的に違うため、スペースに余裕が持てる。
- 材料ロスも少なく、かさ張らないため、環境に優しい施工法である。
- 保守点検、修繕時の復旧も短時間で可能になります。

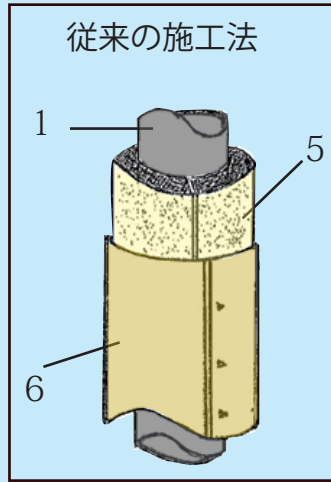
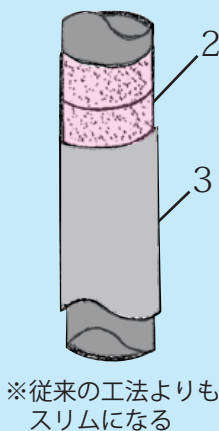
用途

- 各種配管の保温材として使用
- 各種ダクト配管の保温材として使用

新工法



《完成》

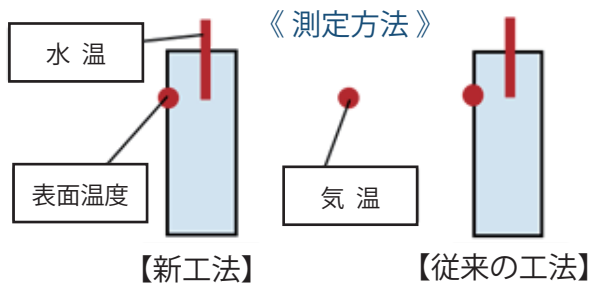


1. 配管 2. ポリエチレンシート 3. EMW G-I 遮熱シート 4. 両面テープ 5. ガラス繊維断熱材 6. 保護カバー

人にやさしい環境づくりをリードする

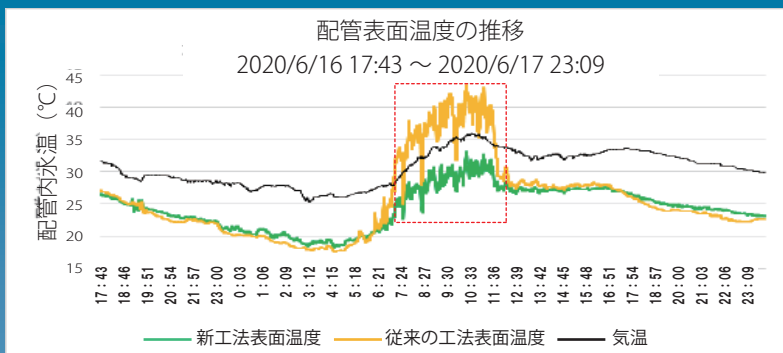


当社の新工法と従来工法との断熱性能測定結果



- 新工法 …塩ビ管にポリエチレンシートと遮熱シートを巻き付けた
- 従来工法 …塩ビ管に断熱材(ガラス繊維)と金属板を巻き付けた

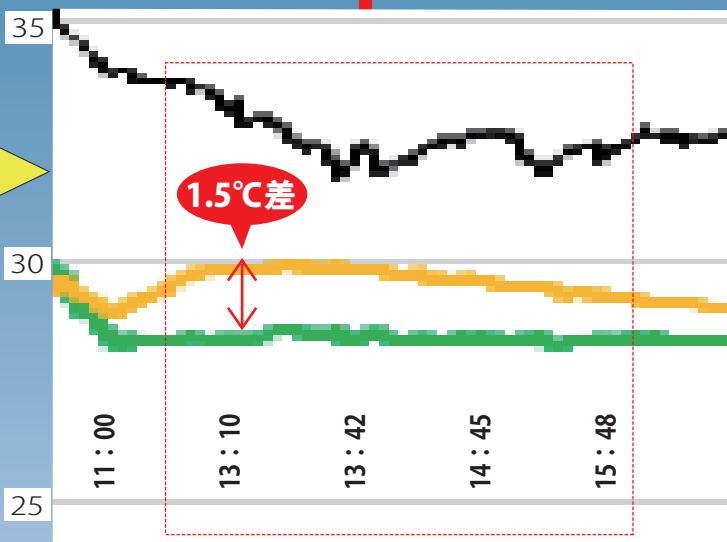
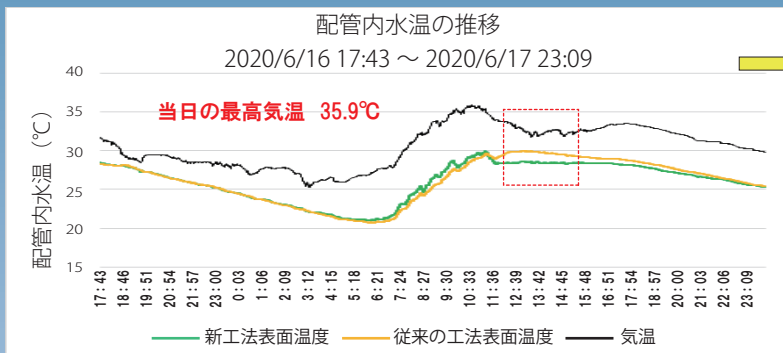
【表面温度の比較】



時間	新工法 (°C)	従来工法 (°C)	温度差 (°C)
12:40	28.5	29.9	-1.4
12:50	28.4	29.9	-1.5
13:00	28.6	30.0	-1.4
13:10	28.5	30.0	-1.5
13:20	28.4	29.9	-1.5
13:30	28.4	29.8	-1.4
13:40	28.6	29.9	-1.3

※抜粋データ

【水温の比較】



当日の最高気温は 35.9°C (10:38) 表面温度は、新工法が気温の推移とほぼ同じであるのに対し、従来の工法は、午前中に上昇し 43.4°C (10:25) まで達した。

配管内の水温の推移は、午後になり変化が見られ、13:10 には、新工法が 28.5°C に対し、従来の工法は 30.0°C と、1.5°C の差が生じた。その後 16:00 頃まで続いた。この原因は従来の工法が金属カバーの温度上昇に伴い、午前中、内部の断熱材も高温になり蓄積された熱が影響したと思われる。

株式会社 リード技建

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘 2-26-27
 TEL 06-6439-2290 FAX 06-6439-0881
 URL : <http://www.leadgiken.com>
 mail : info@leadgiken.com